

ifi

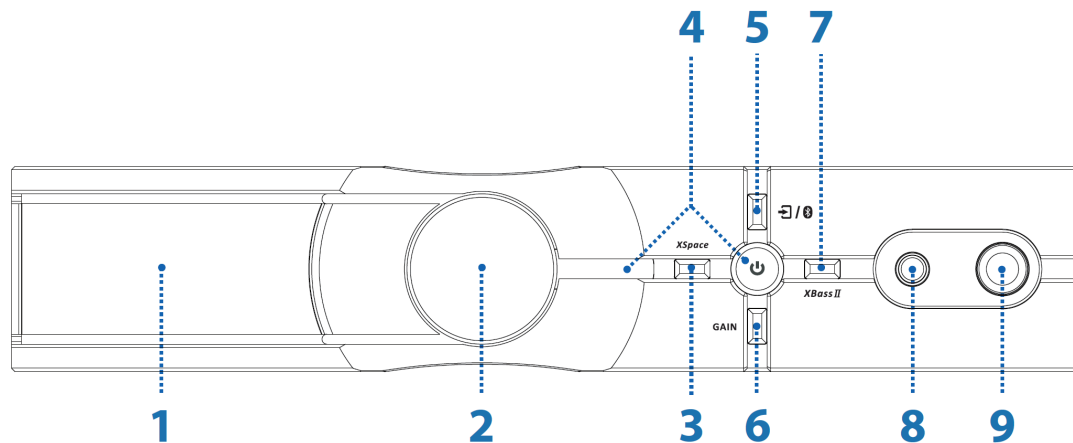
NEO iDSD 2

取扱説明書

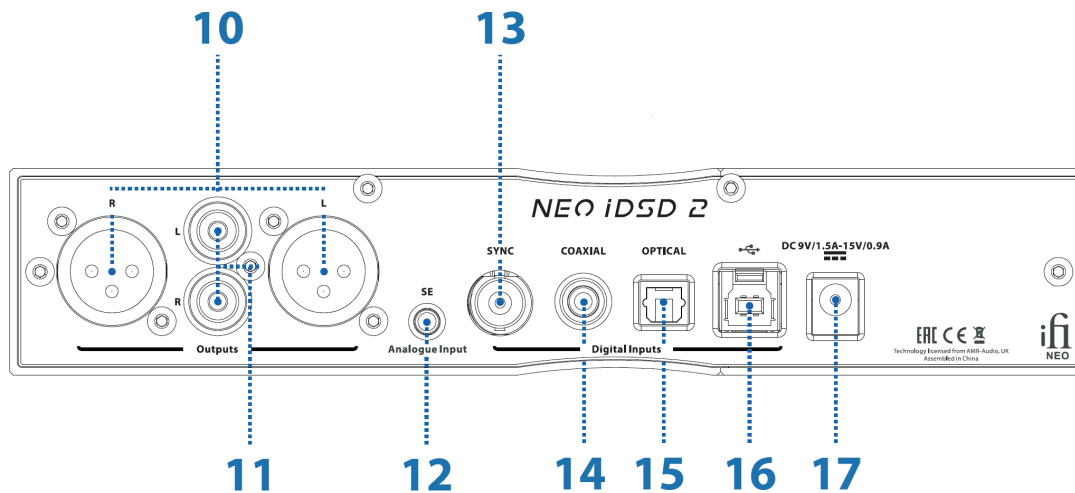
NeoシリーズiDSDをご購入いただき、ありがとうございます。NEO iDSD 2は、バランス型USB・Bluetooth DAC&アンプです。

特長：

- 多機能なオーディオ・ハブ：DAC、プリアンプ、ヘッドフォンアンプの機能
- 超ハイレゾデジタル・オーディオ — PCM768kHz/32bit, DSD512, MQAフルデコードに対応
- デュアルコアDAC設計により、トゥルーネイティブDSDとPCMを実現
- より強化したジッター除去 — フェムト秒精度のGMT (Global Master Timing) クロックとスマートなストレージ・キャッシュ
- 選べる4つのデジタル・フィルター — 音源に合うサウンドに微調整
- 最先端のHD Bluetooth 5.4は、ソース・デバイスを問わず、完全に最適化されたパフォーマンスを発揮します。
- あらゆるBluetoothコーデックをサポート：aptX Lossless, aptX Adaptive, LDAC, LHDC/HWA他 (aptX/AAC/SBC)
- 強化された「PureWave」フルバランス・デュアルモノ回路によってもたらされる超低歪み
- 余裕のあるパワーで、どんな高負荷なヘッドフォンをも駆動(初代NEO iDSDの約5倍のパワー)
- **XSpace・XBass II** — サウンドステージや、周波数特性を調整し、あなたのヘッドフォンにあわせる
- Active Noise Cancellation搭載オーディオファイルACアダプタ「iPower2」付属
- 縦でも横でも設置可能 — 2インチカラー液晶が向きに合わせて回転



- | | | | |
|-------------------------------------|-------|-------------------------|------|
| 1. TFTディスプレイ | P.4 | 6. ゲイン選択 | P.9 |
| 2. マルチファンクション・ノブ | P.4-7 | 7. XBass II選択 | P.10 |
| 3. XSpace マトリックスON/OFF | P.7 | 8. 4.4m/バランス・ヘッドフォン出力 | P.10 |
| 4. 電源ON/OFFと明るさ調節 | P.8 | 9. 6.3mmアンバランス・ヘッドフォン出力 | P.10 |
| 5. 入力チャンネル・セレクター/Bluetoothペアリング・ボタン | P.8-9 | | |



- | | | | |
|----------------------------|------|----------------|------|
| 10. バランスXLRアナログ・ライン出力 | P.11 | 14. 同軸デジタル入力 | P.11 |
| 11. アンバランスRCAアナログ・ライン出力 | P.11 | 15. 光デジタル入力 | P.11 |
| 12. 3.5mmアンバランス・アナログ・ライン入力 | P.11 | 16. USBオーディオ入力 | P.11 |
| 13. クロック・シンク入力 | P.11 | 17. DC電源接続端子 | P.12 |

1. TFTディスプレイ

TFTディスプレイには、現在選択中の入力チャンネル、XBass II、XSpace、フォーマット、サンプリングレート、電源モードが表示されます。

ヒント:TFTスクリーンは、NEO iDSD 2を横置きにした場合は左側に、縦置きにした場合は上側に位置するように設置します。

2. マルチファンクション・ノブ

以下をコントロールします:

- アナログ・ボリューム・コントロール(回す)
- ミュート(短押し)
- メニューの設定(3秒間長押し)

アナログ・ボリューム・コントロールとメニュー

ボリュームを変えるにはダイヤルを回します。NEO iDSD 2のアナログ・ボリューム・コントロールは、どんなデジタル・ボリューム・コントロールよりも優れています。

ミュート

ミュートにするにはロータリー・ダイヤルを押します。ミュートを解除するには、ダイヤルをもう一度押すか、回します。

メニューの設定(3秒間長押し)

以下をコントロールします：

- デジタル・フィルター
- ゲイン
- ボリューム・シンク
- Bluetoothボイス・プロンプト
- 外付けシンク・クロック
- ライン・ボリューム・コントロール
- 工場出荷時の設定に戻す

注意: 回して機能を選択します。短押しで選択を確定する、またはモードのON/OFFを切り替えます。10秒間操作しないと、ディスプレイがホームの位置に戻ります。

1) デジタル・フィルター

以下の4つのデジタル・フィルターが利用可能です：

BP Bit-Perfect：デジタル・フィルターなし、プリリングなし、ポストリングなし

STD Standard：わずかなフィルター、わずかなプリリング、わずかなポストリング

MIN Minimum Phase：スロー・ロールオフ、最小限のプリリング、最小限のポストリング

GTO Gibbs Transient-Optimised：352.8/384kHzにアップサンプリング、最小限のフィルター、プリリングなし、最小限のポストリング

注意: GTOフィルターを選択した場合はディスプレイに352.8kHzまたは384kHzが表示され、このフィルターのアップサンプリング動作がわかるようになっています。

II) ゲイン

以下の四つのゲイン・モードから選べます (詳細は 6 番を確認)



iEMatch > Normal > Turbo > Nitro

III) ボリューム・シンク

ボリューム・シンクをONかOFFにします。デフォルトはOFFです。

IV) Bluetoothボイス・プロンプト

Bluetoothのボイス・プロンプトをONかOFFにします。デフォルトはOFFです。

V) 外付けシンク・クロック

10MHzの外付けシンク・クロック入力をONかOFFにします。デフォルトはOFFです。

10MHzのクロックを検知しない場合、または外付けクロックにエラーが生じた場合は、スクリーンにエラーが表示され、NEO iDSD 2は自動的に内蔵クロックに切り替わります。

VI) ライン・ボリューム・コントロール

ライン・ボリューム・コントロールを回してONかOFFにします。デフォルトはOFFです。

このモードは、NEO iDSD 2のアナログ・ライン出力セクションのボリューム・コントロールを使用するかどうかを決定します。

VII) 工場出荷時の設定に戻す

「Apply」(適用)を選択すると、この機器を工場出荷時の設定に戻します。正常に進行すると、iFiのロゴがスクリーンに表示され、この機器が再起動します。

警告：工場集荷時の状態に戻すと、保存されていたBluetoothのペアリングが削除され、デジタル・フィルターが「BP」になり、Bluetoothのボイス・アナウンスメントがONになり、スクリーンの明るさが「High」になり、入力チャンネルがUSBになり、ボリュームが72になり、ゲインがNormalになり、XBass IIとXSpaceがOFFになります。

3. XSpace Matrix ON/OFF






XSpaceマトリクスをONにすると、ホログラフィックなサウンドフィールドを生成します。

XSpaceマトリクスは純粋なアナログ信号処理回路で、スピーカーを聞いているようにヘッドフォンを聞くことができるように設計されています。これによって、「頭の中で音楽が鳴っている」ように感じて不安を覚えることがあるという問題に対処することができるのです。

4. 電源ON/OFFと明るさ

電源ON/OFF

電源スイッチを長押しして電源をON/OFFします。

-  **スクリーンの明るさ（短押し）**
-  **High** 明るさが高いモード。ディスプレイの明るさが常にHighになります。
-  **Med** 明るさが中程度のモード。ディスプレイの明るさが常にMediumになります。
-  **Low** 明るさが低いモード。ディスプレイの明るさが常にLowになります。
-  **Off** スリープ・モード。10秒間何も操作しないとディスプレイがOFFになります。

5. 入力選択/Bluetoothのペアリング



USB



Bluetooth



Coaxial
(同軸)



Optical
(光)



Line (3.5mm)



Auto
(自動)

注意: ご使用のオーディオ・ソース機器の入力モードに合わせて入力チャンネルを選択してください。たとえば、USB入力を使っている時は、入力チャンネルを「USB」にする必要があります。

注意: 「Auto」モードを選択した時は、入力信号を検知して、該当する入力チャンネルに自動的に切り替わります。

NEO iDSD 2は、aptX、aptX Lossless、aptX Adaptive、LDAC、LHDC/HWA、AAC、SBCを経由してBluetooth信号を受信します。

Bluetoothペアリング

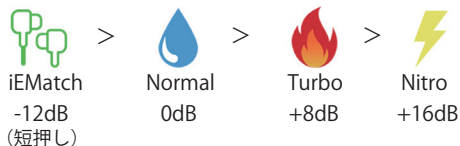
Bluetooth入力を選択すると、ディスプレイにBluetoothのアイコンが点灯し、以前にペアリングされた機器を探します。保存された機器が見つからないと、自動的にペアリング・モードに入り、点灯します。

ペアリング・モードに入るには、ボタンを押して保持し(1秒間)、Bluetoothのアイコンが点灯するまで待ちます。

NEO iDSD 2はBluetooth機器を8台まで保存することができます。

6. ゲインの選択

以下の4つのゲイン・モードに切り替えることができます。



注意:常に0dBから開始して、ヘッドフォンのボリューム・レベルがちょうどよく楽しめるようになるまで上げていきます。

警告:最初はゲインを上げすぎないでください。聴覚や接続されたヘッドフォンに損傷が生じる危険性があります。AMR/iFi audiolは、誤った使用による損傷には一切の責任を負いかねます。

7. XBass II の選択

3つのバス・モードを切り替えて選択することができます。

Off > **XBass** > **XBass** > **XBass**
Off XBass Presence XBass + Presence

XBass IIは、失われた低域レスポンスを「取り戻して加える」ことで、オリジナルの音楽をより精確に再生することを目指して設計されたアナログ回路です。

注意：ヘッドフォンの周波数レスポンスの調査によると、純粋にフラットなレスポンスが正しいわけではないことがわかりました。私たちが長年にわたって提供しているXBassは、必要とされる低域の補正という側面に適しています。しかし、その調査ではまた、多くのヘッドフォンで「ナチュラルな」サウンドを得るには、中高域をある程度ブーストすることが必要であることもわかりました。

この中高域は、通常は「presence プレゼンス」帯域と呼ばれており、私たちは、中高域の補正を示すのにこの用語を用いています。NEO iDSD 2では、XBass II (あるいはおそらくはHPEQ(ヘッドフォン・イコライザー)と呼んだ方がいいかもしれません)による補正は、「Bass + Presence」、「Bass」のみ、「Presence」のみの中から選ぶことができます。

注意：**XBass II**のシステムでも、**XSpaceMatrix**のシステムでも、音質を妨げるDSP(デジタル信号処理)は使用していません。最高品質のディスクリート・コンポーネントを用いて、純粋にアナログ領域で動作させているのです。だからこそ、オリジナルの音楽が持つ明晰さと解像度が保持されているのです。

8. 4.4mmバランス・ヘッドフォン出力

4.4mmバランス・ヘッドフォンを接続します。

9. 6.3mmアンバランス・ヘッドフォン出力

6.3mmシングルエンド・ヘッドフォンを接続します。3.5mmシングルエンド・ヘッドフォンには、3.5mmから6.3mmへのアダプターを使用します。

10. バランスXLRアナログ・ライン出力

4.4mmからXLRへの接続、あるいは同様のバランス接続に使用します。

11. アンバランスRCAアナログ・ライン出力

シングルエンド・アンバランス信号出力で、アンプに接続します。

12. 3.5mmアンバランス・アナログ・ライン入力

3.5mステレオ・コネクタを用いて、アナログ・ライン・レベルのオーディオ・ソース機器に接続します。

13. クロック・シンク入力

外付けクロック・ソース機器(10MHz) (オプション)に接続します。

サイン波(正弦波)または矩形波の信号が使用可能です。(1Vpp 実測値, 75Ω)

ヒント：この入力を使うためには、メニュー設定で「External Sync Clock」をONにする必要があります。10MHzのクロックを検知しない場合、または外付けクロックにエラーが生じた場合は、スクリーンにエラーが表示され、NEO iDSD 2は自動的に内蔵クロックに切り替わります。

14. 同軸デジタル入力

Apple TV、Google Chromecast、PS5、ハイエンドのCDトランポートといったS/PDIFソース機器を接続します。

15. 光デジタル入力

Apple TV、Google Chromecast、PS5、Xbox、ハイエンドのCDトランポートといったS/PDIFソース機器を接続します。

16. USBオーディオ入力

USB3.0 B入力端子です(USB2.0互換です)。コンピューターと高品質な接続をするためには、同梱のUSB3.0ケーブルを使用します。これによって、NEO iDSD 2をコンピューターのオーディオ・ソースに接続することができます。

17. DC電源接続端子

DC9V/1.5A – 15V/0.9A*の電源入力端子です。NEO iDSD 2と同梱の電源アダプターを接続します。

* 電源ユニットは定格電流の最小値を連続して供給できなければなりません。

ヒント:PCのUSB2.0ポートを使うよりもUSB3.0ポートを使用する方が好ましいでしょう。

注意:PCで使用する場合はドライバーをダウンロードする必要があります。

<https://ifi-audio.jp/DL/driver.html>

ヒント:最新のファームウェアへのアップデートについては、以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://ifi-audio.jp/DL/firmware.html>

MQA

NEO iDSD 2はMQAテクノロジーを内蔵しているので、MQAオーディオ・ファイルとストリームを再生し、オリジナルのマスター・レコーディングのサウンドを生み出すことができます。



「MQA」または「MQA.」は、その製品がMQAのストリームやファイルをデコードして再生していることを示し、その由来が確かなものであることを示して、サウンドがソース素材とまったく同じであることを保証します。「MQA.」はMQA Studioファイルを再生していることを示します。アーティストやプロデューサーによってスタジオで認められたか、著作権者によって証明されたファイルです。「OFS」は、その製品がMQAストリームやファイルを受け取っていることを保証します。これによって、MQAファイルの最後の「アンフォールド(展開)」が実現され、オリジナルのサンプリング・レートが表示されます。

MQAとSound Wave DeviceはMQA Limitedの登録商標です。© 2016

MQA

- 1) 箱から出したらすぐにMQAファイルを聞くことができます。
- 2) MQAのトラックを聞くには、Tidalに接続してMQAをストリーミングする項目をチェックするだけです。
- 3) MQAについて詳細は以下のサイトをごらん下さい。

<https://mqa.jp/>



追加機能と将来のアップデートのためにNexis appをダウンロードしましょう。

iFi Nexis Appを使ってNEO iDSD 2をセットアップしましょう。

iFi Nexis app中で「NEO iDSD 2」を探します。

iFi Nexis appを使えば、NEO iDSD 2のすべての機能を使い、設定を行うことができます。OTA*によるアップグレード、リモート・コントロール**などです。

* OTA (Over the Air Technology, またはOver the Air Download Technology) は、ファームウェアのアップグレード・パッケージを自動的にダウンロードし、ネットワーク上で自動的にアップグレードを行います。

** 伝統的なリモコンのかわりに、機器をコントロールするのに便利な使い易い方法を提供し、NEO iDSD 2のすべての機能の利用と設定をより簡単に、便利に、自由にできるように調節します。



Scan the QR code to view the official iFi audio NEO iDSD 2 video on YouTube.

QRコードをスキャンして、iFi audioのNEO iDSD 2公式動画をご覧ください。

注意

1. 極端な暑さ、寒さ、湿気を避けてください。
2. NEO iDSD 2を落としたり潰したりしないでください。
3. 不快や苦痛を感じたら、ボリュームを下げたり、使用を一時停止したりしてみましょう。
4. オーディオを再生する前に常に現在使用中のイヤフォン、ヘッドフォン、スピーカーのボリュームをチェックしてください。多くの音楽再生ソフトやオペレーティング・システムには、ボリューム・コントロールに関わる工業基準を適切に適用していないものがあります(たとえばヒューマン・インターフェース機器用のUSBデバイス・クラス規定など)。もしも疑問がある場合は、音楽を再生する前にiFi製品のCyberSyncや他のボリューム同期機能をOFFにして、ボリュームを最低の設定にしてください。

長時間熱にさらすのは避けましょう

iFi製品は、通常の使用時にも非常に熱くなることがあります。iFi製品を使用中または充電中は、硬く安定した、通気の良い場所に置くことが重要です。

警告：聴覚に損傷が生じるのを防ぐために、長時間大音量で聴くのはやめましょう。

仕様

入力：

デジタル

USB3.0-Bメス (USB2.0互換)

S/PDIF (同軸/光)

Bluetooth 5.4

対応フォーマット (USB)：

DSD512/256/128/64、DXD (768/705.6/384/352.8kHz)、

PCM (768/705.6/384/352.8/192/176.4/96/88.2/48/44.1kHz)

MQA (フルデコード対応)

対応フォーマット (S/PDIF同軸、光)：

PCM (192/176.4/96/88.2/48/44.1kHz)

MQA (フルデコード対応)

対応フォーマット (Bluetooth)：

aptX Lossless, aptX Adaptive, aptx, LDAC, HWA/LHDC, AAC and SBCコーデック

アナログライン入力：

アンバランス入力

クロック入力：

外部クロック10MHz, 1Vpp (実測値), 75Ω, サイン波 / 正弦波

DAC：

Bit-Perfect DSD & DXD DAC by Burr Brown

Qualcomm QCC 5181 Series

ライン出力

ライン出力レベル：

XLR： 19.5V最大(可変)、4.4V(固定)

RCA： 10.5V最大(可変)、2.2V(固定)

ライン出カインピーダンス：

XLR： 100Ω以下

RCA： 50Ω以下

S/N比： -120dB(A)@0dBFS(XLR/RCA)

ダイナミックレンジ：
120dB(A)以上
@-60dBFS(XLR/RCA)

THD+N： 0.0015%以下@0dBFS(XLR/RCA)

ヘッドフォン出力

ヘッドフォン出力レベル：

4.4mmバランス： 3.5V / 19.5V最大 12Ω - 600Ω負荷

6.3mmシングルエンド： 4.5V / 9.50V最大 12Ω - 600Ω負荷

ヘッドフォン瞬間最大出力：

4.4mm/バランス： 650mW以上@600Ω、5,551mW以上@32Ω

6.3mmシングルエンド： 184mW以上@600Ω、2,832mW以上@32Ω

ヘッドフォン出力 (RMS)：

4.4mm/バランス： 620mW以上@600Ω、2,530mW以上@32Ω

6.3mmシングルエンド： 157mW以上@600Ω、1,390mW以上@32Ω

出力インピーダンス： 1Ω以下

S/N比： -120dB (A) @3.3Vシングルエンド、6.2Vバランス

ダイナミックレンジ： 120dB (A)

THD+N： 0.0015%以下 (125mW@32Ω)

消費電力

無信号時： ～5W

最大出力時： ～13.5W

入力電圧： DC 9V/1.5A - 15V/0.9A、AC100-240V、50/60Hz (iPower II 5V付属)

サイズ： 214×158×41mm

重量： 916g

保証期間： 12ヶ月

標準的な小売価格： 154,000円(税込)

JAN： 5060738787609

※仕様は予告なく変更になる場合があります。

ifi